



宮崎県都城市の野生いのししで豚熱の感染が確認されました

宮崎県都城市で4月9日に回収された死亡野生いのししにおいて、南九州初となる豚熱の感染が確認されました。ウイルス侵入のリスクがかつてないほど高まっています。

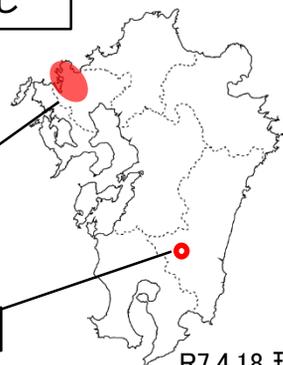
豚やいのししの所有者及び飼養衛生管理者は、農場における飼養衛生管理を再点検し、次の各項目について、**従業員や、訪問する業者等も含めて徹底**してください。



豚熱感染野生いのしし

佐賀県：77頭
長崎県：8頭

宮崎県：1頭



R7.4.18 現在

ウイルス侵入防止の徹底

- 家畜の飼養管理に必要な人や車両等の**出入りを制限**する。
- 衣服及び長靴の交換、手指消毒、車両及び物品の**消毒を徹底**する。
- **野生動物の侵入防止対策状況**を定期的に点検し、不備があれば**速やかに改善**する。
- と畜場(特に県外と畜場)への入出場時は車両消毒を徹底する。



適時・適切なワクチン接種

ワクチンの接種のみで豚熱の感染を防止することは困難であるため、飼養衛生管理を徹底した上で、**適時・適切にワクチンを接種**する。



万が一の発生に備えて

埋却地等を確保し、その**実効性※**を改めて点検する。



※面積は十分か、湧水がないか、木などが生えていないか、(自己所有地以外の場合)所有者の同意はあるか等

異状を発見した際は速やかに家畜保健衛生所に通報してください！





韓国では、今年3月に1年10か月ぶりに口蹄疫の発生が確認され、4月14日現在まで、**牛及び豚飼養農家計19件***で続発しています。
 現在、我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。
 その他のアジアの発生国については、下段の発生情報を御確認下さい。

※牛飼養農家14件、豚飼養農家5件。韓国南西部全羅南道

牛、豚、めん羊、山羊、鹿等飼養者の皆様は、発生予防の徹底を！

ウイルス侵入防止の徹底

- 表面の豚熱対策で示した各項目に加えて、以下のとおり対応してください。  
- **口蹄疫発生国への渡航は可能な限り控える**とともに、これらの国からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まない。

口蹄疫の症状

※宮崎県HPより掲載



泡のようなよだれ



舌の水ほう



口腔内のびらん

《消毒薬使用上の注意点》

- ★ 逆性石けんやアルコールは口蹄疫の消毒薬としては不適です。ヨウ素系（ポリアップ16など）や塩素系（アンテックビルコンSなど）などが有効です。
- ★ 消毒効果が弱まるので、酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用しないこと！（アンテックビルコンS（酸性）と消石灰（アルカリ性）など）

近隣諸国における悪性伝染病等発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種（件数）	発生年月日
口蹄疫 (FMD)	O型 (一部判定不能)	韓国	牛(14) 豚(5)	3月13日～3月23日 4月10日～4月13日
		中国	牛(2)	2月24日、3月7日
	A型、O型	カンボジア	不明(12)	令和6年11月14日～4月15日
		マレーシア	不明(15)	
		O型	インドネシア	不明(不明)
アフリカ豚熱 (ASF)		韓国	豚(3) 野生いのしし(41)	1月20日～3月16日 1月～3月
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1 (H5亜型)	韓国	家きん(27) 野鳥(18)	1月3日～4月4日 令和6年12月30日～3月24日
	不明	台湾	家きん(14)	1月～3月

令和7年(2025年)4月15日現在